

原因究明に協力態勢

水俣病 各省連絡協議会開く

厚生、水産、通産、経済企画の各省庁は十一日午後一時半から東京日比谷の松本楼に代表約五十人を集め水俣病問題についての連絡協議会を秘密会で開いた。県から浜崎衛生部長、森水商工水産部長、野沢水産課長、熊渡環境衛生課長、鶴岡厚生省食品衛生調査会水俣部会長（前熊本大学長）らが出席した。

衆院の現地調査団帰京らしい各委員会などで政府関係省庁の協

力態勢不備を指摘されたが、今後原因究明に一致協力して当たる方針を決めた。来週早々に責任者が集まり相互の必要予算を算定し、担当の省を決めて、視察団を連絡を取りながら強力な究明態勢を固めることになった。また漁民、患者、工場などの対策については各省の計画を発表して討議したが、具体的な決定策は出なかったとされている。

（東京支社）